

平成28年(2016年)5月17日 (火曜日)

「民間活力を最大活用」

三島駅南口再開発 市議会に市説明 市民の会「時間かけて」

三島市議会は16日、全真協議会を開いた。三島駅南口再開発事業のモデル案の施設計画や導入機能、事業費などを協議した。

市は広域医療拠点を目指すモデル案の中で、市街地事業として住宅や外向け店舗、駅、民間活力を最大限

施設利用者用立体駐車場などを、定期借地事業として健康、医療、商業施設などを導入し、民間活力を最大限

に活用していきたいと考えを示した。今後は事業協力者の公募や都市計画決定、組合設立認可などの手順が順調に進めば、2020年の東京五輪開催前の着工が可能と想定スケジュールを説明した。

この案に「三島駅南口の整備を考える市民の会」の代表を務めるNPO法人グラウンドワーク三島の渡辺豊博専務は「市の意向ばかりで市民の意向と整合性があるのかを考えてほしい。市民の意見やアイデアはまだまだある。南口は個人の土地もあるが、ほとんどが市民の土地なのでもっと時間をかけてほしい。すてきな三島になれるようやり方はほかにもある」と話した。